

不登校の原因を考える (最終)

文科省は、学校からの報告をもとにして、「不登校の要因(原因)」を発表しています。以前に比べて、「家庭の状況」の数値は低くなりましたが、まだまだ高い数値です。

■文科省の調査

文科省は、毎年調査(児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)で、不登校の要因(原因)を次のようにまとめています。
(ちなみに、調査の名前の中で、不登校を「問題行動」としないで「諸課題」としたのは、大きな前進と言えます。「問題行動」はいじめや暴力行為です。以前は、不登校も「問題行動」となっていました。)

調査する不登校の要因(原因)の区分

○学校に係る状況

- ・いじめ
- ・いじめを除く友人関係をめぐる問題
- ・教職員との関係をめぐる問題
- ・学業の不振
- ・進路に係る不安
- ・クラブ活動、部活動等への不適応
- ・学校のきまり等をめぐる問題
- ・入学、転編入学、進級時の不適応

- 家庭に係る状況
- どれにも該当しない

調査は、学校が答えています。不登校の要因は、一つ選ぶのではなくて複数ある時は複数選んで良いとなっています。先生方が不登校の原因を答えた数値をまとめていますから、どちらかと言えば、学校よりの数値となっていますから、一つの参考として見るのが正しい理解と言えます。

多かった要因(原因)を4つあげると次のようになっています。

<小学校>

- ・家庭に係る状況 54.1%
- ・いじめを除く友人関係 18.9%
- ・学業の不振 14.0%
- ・どれにも該当しない 16.6%

<中学校>

- ・家庭に係る状況 30.8%
- ・いじめを除く友人関係 28.2%
- ・学業の不振 21.8%
- ・どれにも該当しない 15.8%

■原因となる「家庭の状況」とは何?

まだまだ、不登校の原因は「家庭」と捉えている先生が多いのは残念なことです。どうして先生方の多くは「不登校の原因を家庭の状況」と捉えてしまうのでしょうか。

ある会議で、「家庭に係る状況」について質問をしてみると、具体的には主なものでは以下の内容となりました。

- ①生活リズムの乱れ
- ②ゲームばかりの生活

- ③親の考え方(学校に行かなくて良い)
- ④親が支援を拒否している
- ⑤貧困
- ⑥親が心の病をもっている

子どもが学校に来なくなった時に、まず家庭と連絡をとったり、家庭訪問をします。その時に、目につくのが①～⑤の状況でしょう。ですから、「不登校の要因(原因)は何?」と報告する際には、「家庭に係る状況」が増えてきます。

「どうして学校に来たくないの?」と聞かれた子どもが、学校の嫌なところを言葉にできれば、「学校に係る状況」で報告されますが、多くの子どもは「どうして学校に行くことができないのかわからない」と言いますから、結果として「家庭に係る状況」が多くなります。

■「家庭の状況」は不登校の要因か

そもそも、①～④は不登校の要因(原因)と言えるのでしょうか。例えば「生活リズムが乱れた→不登校」になるのか、それとも「不登校→生活リズムが乱れた」のか。私の25年間の経験を通しての実感は後者です。ですから、生活リズムを整えても、一時的に登校をすることはあっても長く続きません。

「ゲームばかりの生活」も、不登校になってから、前に比べて多くの時間、ゲームをするようになります。ゲームが子どもをダメにしているように見えるだけなのです。

「親の考え方」は、最初から日本の学校教育に不信から「学校に行かなくても良い」と言っている人もいますが、それは少数です。多くの親は、子どもを学校に行かせようとすると子どもの笑顔が消えるので、「今は学校を休んで良いよ」と言っています。それは、不登校の要因(原因)ではなくて、子どもの

生命を守る苦渋の選択です。

「ほっといてください。」と支援を拒否する親に話を聞いてみると、過去に色々あって、「今で精一杯なのに、できないことをあれこれ言ってくるから…」と答えてくれました。

■「問題」のある親が増えている?

ある支援に携わっている方が「親支援が大切なことはわかるが、親に問題があるケースもある。親がゲームばかりして子どもに関心がない。」とおっしゃっていました。確かに、子どもが不登校で苦しんでいるのに、親の「問題ある態度」は、支援者にとってはやりきれない思いにかられるでしょう。そうした親への支援をどう考えれば良いのでしょうか。

日本社会の「貧困」は、深く進行し深刻な状況です。経済的な貧困(貧乏)だけでなく、貧困家庭には様々な困難が連続して襲ってきます。その中に「人間関係の貧困」もあります。子育てが個人責任とされ、親が親として成長できる時間と場所は奪われています。

貧困の時代の中で、ゲームやギャンブルに逃げてしまう親もいると思います。そうした時に「親が問題だから、親の育児能力がないから、子どもは学校に行くエネルギーがなくなる。親が悪い。」で済ますことはできません。「親なら最低限こうあるべき」という「まなざし」が、ますます親をゲームに追いやり、将来的に子どもを追い詰めていきます。

支援の困難さから、親の「問題ある養育態度」に目がいき、親の生命(心)を見ていません。医者が「病気を診て、患者の心を見ない」のと似ています。なぜ、そうした状況に親が追い詰められたのかを知らず、「お父さん、お母さん、しっかりしてください。」と言ってほしいです。「親の養育態度が悪い」では、明日は見えません。

寄付のお礼

野村俊幸さん(北海道函館市在住)よりご寄付がありました。ありがとうございました。野村さんは、星の会の会員ではありません。全国ネットワークの理事をされており、星の会の代表でもあります。社会福祉士で不登校やひきこもりの支援を長年にわたりされている方です。

おねがい

原稿をお寄せ下さい

- 感想・体験 ●伝えたい情報
- その他不登校に関すること
- <メール>toiawase@hoshinokai.net
- <FAX> 097-576-9489

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・インシヤルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

ご寄付のお願い

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかけて下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

<口座記号番号> 01710-8-142651
<加入者名> 不登校を考える星の会

3月の例会予定

- 昼の大分例会…都合でお休みです
- 別府例会…3月2日(土)19:00~21:30
- 豊後大野例会…3月14日(木)19:00~21:30
- 津久見例会…3月8日(金)19:30~22:00
- 夜の大分例会…3月15日(金)19:00~21:30
- 湯布院例会…3月21日(木)19:30~21:30
- アンダンテ星の会…3月10日(日)13:00~17:00

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。

会報発送作業

- 日時: 2月21日(木)14:00~
- 場所: 明治明野公民館
- お尋ねは河野さん(080-5272-9360)まで